



100歳をお祝い

— 長寿者褒賞 —

このたび、片桐寅さん（高鷲町ひるがの）、井上悦三さん（八幡町相生）が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いをしました。おめでとうございます。



☒ 片桐寅さん（高鷲町ひるがの）

2月28日（金）高鷲町ひるがのの片桐寅さんが満100歳の誕生日を迎えられ、日置市長が自宅を訪れてお祝い状や花束を手渡しました。日置市長が「おめでとうございます。これからも長生きしてください」と声をかけると、片桐さんも「これまで生きてこれたのは、みなさんのおかげです。ありがとうございます」と笑顔でお礼を述べられました。



☒ 井上悦三さん（八幡町相生）

3月5日（水）八幡町相生の井上悦三さんが満100歳の誕生日を迎えられ、日置市長が自宅を訪れてお祝い状や花束を手渡しました。日置市長が「おめでとうございます。これからもお体に気をつけて」と声をかけると、井上さんも「ありがとうございます」と元気にお礼を述べられました。井上さんは釣りが大好きで、90歳過ぎまで鮎掛けや鯉釣りによく行かれていたそうです。

2月14日
（金）

郡上市歴史的風致維持向上計画

▶ 国土交通省で坂井大臣政務官（左2人目）から受け取った認定証



郡上市は、平成20年に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（通称：歴史まちづくり法）に基づき作成した「郡上市歴史的風致維持向上計画」を平成26年1月10日付けで国（文部科学省、農林水産省、国土交通省）に認定申請を行い、平成26年2月14日に計画の認定を受けました。

認定式では、坂井国土交通大臣政務官より、愛知県名古屋市、奈良県斑鳩町とともに認定証を交付されました。

今回の認定により全国で44市町が認定を受けたことになり、岐阜県下では高山市、恵那市、美濃市、岐阜市に次ぐ認定となります。

今後は計画に定める重点区域（城下町郡上八幡地区）における歴史的風致の維持向上のため、法律上の特例や国の支援を受けながら様々な事業を展開します。

問 建設部都市住宅課 ☎ 67-1814

☒ 歴史的風致とは？

歴史まちづくり法第1条において、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及び、その周辺の市街地とが一体となって形成した良好な市街地の環境」と定義されています。

3月1日
(土)

合併・市制施行10周年記念講演会

▶藻谷さんの講演に耳を傾ける参加者



平成16年の合併から満10年を迎えた3月1日(土)、「デフレの正体」「里山資本主義」などで著名な藻谷浩介氏(株)日本総合研究所調査部主席研究員)を講師にお迎えし、記念講演会を開催しました。

講演会では、国勢調査による人口推計から、今後予測される超少子高齢化に向け、逆転の発想による地域振興の取り組み策などについて、貴重な提言をいただきました。

(右記は講話抜粋)

◎「郡上市は全国より30年先を進むまち！」

大都市には多くの若い人が住み、郡上市は少子高齢化が進む…は誤り！大都市の高齢化はこれからが深刻。先に高齢化が進んだ郡上市での成功事例が、全国の模範となる。

◎「郡上市は食と観光の時代の有望株！」

郡上らしい景観や暮らし方を保持し、世界に誇れる生活文化を生かした郡上ブランドを確立する。

◎「山林を宝の山に変える！」

地震や火災に強い集成材が大規模建築にも使用される時代。集成材の木屑やチップは、低コスト燃料となり発電も可能。山の資源を有効活用し、郡上産の集成材に取り組む。

◎「先祖から受け継いだこの地(郷土)を孫の代に引き継ぐ！」

日本一子育てしやすい町をめざし、お母さん目線に立った施策にシフト。観光客等の長期滞在(郡上市を通過地としない)に向けた取り組み。空家や耕作放棄地の有効活用。

◎「若い世代を優先に考える！」

地元生まれの子供たちが少しでも多く定着できるよう、若い世代や女性が生き生きと活躍できる体制づくり。古い固定観念にとらわれない。

※参加者アンケートの住所欄で、地域の表記に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

3月12日
(水)

ソチ五輪 銅メダリスト平岡選手 郡上市報告会



◎喜びのあいさつをする平岡選手

ソチ五輪スノーボード男子ハーフパイプで銅メダルを獲得した平岡卓選手(ひらおか たく)の報告会が市総合文化センター多目的ホールで行われました。平岡選手は奈良県出身ですが、小学生のころから国内最大級のハーフパイプが常設されている高鷲スノーパーク(高鷲町)をホームゲレンデとして練習を重ね、小学3年生から白鳥町のスノーボードクラブチーム「フッド」に所属しています。

市では「郡上ゆかりの選手」として、激励金などを贈り平岡選手の応援をしてきました。報告会の会場には、平岡選手を一目見ようと約300人の市民が足を運び、平岡選手から銅メダル獲得の喜びや郡上市への思いを語っていただきました。

また、市政功労者表彰式が行われスポーツ功労として平岡卓選手、山田幸彦様(有)フッド代表取締役)に表彰状を授与し、多賀真瑞様(高鷲スノーパーク支配人)へは、感謝状を贈呈しました。



◎左から平岡選手、山田代表、多賀支配人



TOWN TOPICS

February ~ March

まちのわだい



2月25日
(火)

教育長へ喜びの受賞報告

—岐阜県伝統文化継承功績者顕彰受賞—

▶青木教育長に報告をする
上杉会長



平成25年度岐阜県伝統文化継承功績者顕彰を受賞した「白山中居神社五段神楽伝承の会」の上杉皓一郎会長が、青木教育長に喜びの受賞報告をされました。

「五段神楽」は、市重要無形民俗文化財に指定されており、毎年5月の春の大祭に地元の女子児童2人により奉納されています。上杉さんは「受賞したことは、大変うれしいです。毎年地元の子どもが減っていく中、伝承は大変だが、地域の発展のため伝承していきたいです」と話し、青木教育長は「教育委員会としても伝統芸能は重要なことです。これから力を入れていきたいと思います」と話しました。

2月23日
(日)

児童の発表や講演を開催

—第10回郡上教育フォーラム—

このフォーラムは、地域で取り組まれている青少年育成活動の発表を通じて、青少年に対する理解と地域ぐるみで育てようとする意識を高めることを目的として「地域で育む子どもたちの夢と未来」をテーマに毎年開催されています。当日は、青少年育成に尽力された方々への表彰や作文発表、北濃小学校児童による「雅楽」などが発表されました。

また講演は、岩手県陸前高田市で長洞元氣村(仮設住宅)事務局長として活動される村上誠二氏が「大災害の中での子どもたち」と題して東日本大震災後の取り組みについて講演されました。今回で10回目を迎えたこのフォーラムでは、10年前に市内で発生した災害を忘れず、いつ起こるかわからない災害について考える機会ともなりました。



◀北濃小学校児童による発表の様子

3月2日
(日)

「世界の料理を楽しむ会」を開催

—郡上八幡国際友好協会—

このイベントは、料理を通して世界各国の文化や生活様式を紹介し、また、国籍を越えて楽しく交流できる場をつくることを目的として、郡上八幡国際友好協会が主催し毎年開催しています。今回は、市の外国語指導助手でエジプト出身のラフマン・マフモディ先生を講師に迎え、野菜と魚の蒸し物(アクアパッツァ)など、日本の食材を使ってできるエジプトの家庭料理の作り方を教わりました。

また、料理体験の後はラフマン先生からエジプトの文化や生活様式などについて学びました。

参加者約40人は、ラフマン先生や参加者同士の交流を楽しんだり、普段家庭では使わない香辛料などに興味津々でとても盛況なイベントになりました。



▶参加者のみなさんとエジプト料理を食べました

2月26日
(水)

総務大臣感謝状を受賞

—原郡上市消防団長が日置市長へ報告—

2月17日(月)全国消防団大会(東京:日本消防会館)において「郡上市消防団」が受賞した総務大臣感謝状について、原団長が日置市長に報告されました。これは全国的に団員の減少が著しい中、平成24年~25年にかけて多くの団員が入団した消防団に贈呈されたものです。原団長は「市民のみなさんの消防団活動に対するご理解とご協力のおかげです」と感謝を述べられました。また、昨年11月25日(月)に東京ドームで行われた消防団120年・自治体消防65周年記念大会において、郡上市消防団ラッパ隊が中部ブロックの岐阜県代表として吹奏したことに対し(財)日本消防協会会長感謝状を受賞しました。



◀喜びの報告をする原団長

TOWN TOPICS
February ~ March

3月11日
(火)

郡上ブランドが増えました

—郡上ブランド認定式及びセミナーの開催—

郡上の魅力ある製品で工程管理の行き届いた製品を認定する郡上ブランド認定証授与式が商工会で開催されました。これまでの9品目に加え、(株)ひるがのドリームが企画販売する「にんじんジュース」、石山呉服店が企画する「ゆかた」、(有)ひるがのラファノスが生産販売する「にんじん」、社会福祉法人ぶなの木福祉会が製造販売する「石鯨」と「コンフィチュール」の4社5製品が新たに認定されました。

臼田委員長からは「付加価値を高め、他品目との差別化を図り、チーム郡上として売り出していきたい」とあいさつがありました。



新たに認定された4社のみなさんと5製品

3月14日
(金)

小学生の鯉のぼりが完成!

—八幡小学校の郡上本染鯉のぼり製作体験—

八幡小学校の4年生が、ふるさと学習の一環として製作に取り組んだ郡上本染の鯉のぼりが指導にあたっていただいた渡辺染物店さんにより仕上がり、同店の渡辺一吉さんわたなべ かずよしが学校を訪問して、児童たちに届けていただきました。1月17日の糊置き、1月20日の色付けを経て、2月2日には吉田川に入っの寒ざらしを体験し、このたび完成したものです。

渡辺さんは「鯉のぼりを見て、苦労したことや工夫したことを思い出してみてください。みなさんが声をかけ合い協力したことにより、立派に完成しました」とあいさつ。約1.6メートルの鯉のぼり5匹が、児童たちに手渡されました。

児童の代表は「郡上に生まれたおかげで、すばらしい体験をすることができました。これからも郡上を大切にしていきたいと思います。5月になったら鯉のぼりを飾るので、ぜひ見にきてください」とお礼を述べました。



八幡小学校4年生のみなさん

3月8日
(土)

有事に備えて決意新たに

—消防団車両貸与式及び配属式—

▶新たに配属した消防車両



市では、郡上市消防団が使用する車両や小型動力ポンプについて、基準年数に達したものから順次更新をしています。この度、消防本部において平成25年度第2回消防団車両貸与式及び配属式が行われ、消防ポンプ自動車2台と消防小型動力ポンプ積載車6台が八幡、白鳥、高鷲、和良方面隊へ配備されました。

貸与式では、日置市長が「平常時から訓練に努め、有事の際には大いに役立ててください」とあいさつしました。

3月10日
(月)

古今伝授の里でお雛様を楽しむ

—雛めぐりスタンプラリーなどを開催—

▶フルートとピアノによる早春の調べが来場者を魅了



古今伝授の里フィールドミュージアム内の各施設において、お雛様を展示し、全部まわると記念品がもらえる「雛めぐりスタンプラリー」が開催されました(雛めぐりは、3月31日(月)まで開催)。お雛様は地元の人から寄贈された土雛つちひなや手作りのもので、各施設に古布や草花などとともに展示され、和歌の世界にしっかりと馴染んでいました。

期間中、周辺ではセツブンソウやショウジョウバカマなど早春の山野草が来園者を出迎え、研修館「篠脇山荘」ではちりめん細工たばしあひやきめこみ人形の体験教室、美並町在住の音楽家・高橋愛さんらによるフルートとピアノのコンサートなど多彩な催しも開かれました。

また、和歌文学館の企画展「源氏物語のうた」展では物語の贈答歌を美しい書で紹介し、大和文化財展示館では島津忠夫文庫所蔵の貴重和本が紹介され、来館者はそれぞれ和歌の魅力に浸っていました。「源氏物語のうた」展は4月21日(月)まで、島津忠夫文庫貴重和本展は6月30日(月)まで開催